

告示番号		12		膠原病		平成（		）年度 小児慢性特定疾病 医療意見書			
受給者番号（				新規登録 ・ 継続 ・ 転入 （ 転出地： ）							
患者		ふりがな 氏名			男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日 （ 満 歳 ）				
出生都道府県※1				出生体重		g		出生週数		在胎 週	
現在の身長※2		. cm		現在の体重※2		. kg		母の生年月日		昭和 平成 年 月 日	
発病		年 月 頃			初診日		年 月 日				
大分類病名		3		再発性多発軟骨炎		細分類病名		12		再発性多発軟骨炎	

該当するものに○をつけ、必要な場合（ ）に記載

1.臨床所見	
診 断 時 の 症 状	継続申請の場合は現在の状態を記載
	耳介軟骨炎 （ なし ・ あり → 耳介軟骨の炎症、変形 ・ 外耳道変形による伝音性難聴 ・ その他（ ） ）
	鼻軟骨炎 （ なし ・ あり ）
	喉頭気管軟骨炎 （ なし ・ あり → 嚔声 ・ 咳嗽 ・ 喘鳴 ・ 呼吸困難 ・ その他（ ） ）
	前庭障害・難聴 （ なし ・ あり → 感音性難聴 ・ めまい ・ 嘔気 ・ 運動失調 ・ その他（ ） ）
	眼病変 （ なし ・ あり → 強膜炎 ・ ぶどう膜炎 ・ 結膜炎 ・ 角膜炎 ・ 視力障害 ・ その他（ ） ）
	血清反応陰性（リウマチ因子陰性）関節炎 （ なし ・ あり ）
	心血管病変 （ なし ・ あり → 大動脈弁閉鎖不全 ・ 僧帽弁閉鎖不全 ・ 僧帽弁逸脱 ・ 大動脈動脈瘤 ・ その他（ ） ）
	その他の膠原病の合併 （ なし ・ あり → 病名（ ） ）
	腎炎 （ なし ・ あり → 病名（ ） ）
以下の確定診断の要件①、②、③のうち、該当するものを一つ選択 （ ） ① 耳介、鼻、喉頭気管軟骨の3つのうち2つの証明された炎症所見 （ ） ② 耳介、鼻、喉頭気管軟骨の3つのうち1つの証明された炎症所見＋ 眼病変、難聴・前庭障害、血清反応陰性関節炎のうちの2つの所見 （ ） ③ 上記②の6つの症状のうち1所見＋同部の組織陽性所見※ ※軟骨の変性(好塩基性低下、弾性線維と膠原線維の変性・断裂、線維化、石灰化)および炎症細胞浸潤など本症に合致した所見であること	

2.検査所見	
診 断 時 の 検 査 等 の 結 果	継続申請の場合は現在の状況を記載
	血液検査
	赤沈 （ ） mm/h
	MMP-3 （ 未検査 ・ 正 ・ 増 → （ ） ng/L ）
	CRP （ ） mg/dL
	白血球数 （ 減 ・ 正 ・ 増 ）
	血小板数 （ 減 ・ 正 ・ 増 ）
	リウマトイド因子 （ 未検査 ・ 陰性 ・ 陽性 ）
	抗CCP抗体 （ 未検査 ・ 陰性 ・ 陽性 ）
	抗核抗体 （ 未検査 ・ 陰性 ・ 陽性 → （ ） 倍 ）
HLA （ 未実施 ・ 実施 → 所見： ）	
組織検査	
組織所見 （ 未実施 ・ 実施 → 部位（ ） 、所見（ ） ）	

3.その他の所見	
その他の現在の所見など	合併症 （ なし ・ あり → 詳細： ）

4.経 過	
現在の治療	薬物療法など （ なし ・ あり → 非ステロイド系抗炎症薬 ・ ステロイド薬 ・ 免疫調整薬 ・ 免疫抑制薬 ・ 抗凝固薬 ・ γグロブリン ・ 強心利尿薬 ・ 生物学的製剤 ・ 血液浄化療法 ・ 理学作業療法 ・ その他（ ） ）
過去の主な治療・検査など	

5.今後の療の方針	
就学・就労	1. 就学前 2. 小中学校（通常学級・通級・特別支援学級） 3. 特別支援学校（小中学部・専攻科を含む高等部） 4. 高等学校（専攻科を含む）・高等専門学校・専門学校/専修学校など 5. 大学（短期大学を含む） 6. 就労（就学中の就労も含む） 7. 未就学かつ未就労 8. その他（ ）
現状評価	一つに○印： 治癒 ・ 寛解 ・ 改善 ・ 不変 ・ 再発 ・ 悪化 ・ 死亡 ・ 判定不能 小児慢性特定疾病 重症患者認定基準に該当： しない ・ する ・ 不明 人工呼吸器等装着者認定基準に該当： しない ・ する ・ 不明
治療見込期間	入院 年 月 日 から 年 月 日 まで
	通院 年 月 日 から 年 月 日 まで （ 月 回 ）
上 記 の 通 り 診 断 し ま す 。	
医療機関名	
および	
所在地	
平成 年 月 日	医師名
科	
印	
小児慢性特定疾病指定医番号	

※1 出生都道府県は母子健康手帳に記載されている出生した際に出生届を提出した住民票の所在地を記入
※2 現在の身長・現在の体重は小数点1位まで記入